

1 前提

該当する地域	平坦地～中山間
設定した経営規模	初夏どりブロッコリー-150a、秋冬どりブロッコリー-400a、スイートコーン30a、水稻50a
自家労働	2人
その他	育苗ハウスは鳥取型低コストハウスとし、補助事業を活用（1/2補助）。

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1年目								○…………○	—————	□□□□□□□□□□			
2年目		□□□□□□□□□□□□						○…………○	—————				□-----

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、□トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (f) × (G) × 利率
作業場・農具舎	木・瓦	100 m ²	6,300,000	63	4,000,000	4,000,000	15	266,667	8	1,866,667	100	74,667
育苗ビニールハウス	6m×40m	1 棟	702,000	69	484,380	484,380	10	48,438	5	242,190	100	9,688
農機具格納庫	鉄骨	3 m ²	180,000	63	114,286	114,286	15	7,619	8	53,333	100	2,133
トラクタ	35ps	1 台	3,892,320	63	2,471,314	2,471,314	7	353,045	4	1,059,134	100	42,365
ロータリ	180cm	1 台	626,400	63	397,714	397,714	7	56,817	4	170,448	100	6,818
管理機	6.3ps	1 台	298,000	69	205,620	205,620	7	29,374	4	88,124	100	3,525
全自動移植機	2.9ps	1 台	1,482,480	73	1,079,245	1,079,245	7	154,178	4	462,533	100	18,501
ブロードキャスター	300 ^{リットル}	1 台	266,760	63	169,371	169,371	7	24,196	4	72,587	100	2,904
動力噴霧機	可搬式6ps	1 台	255,960	69	176,612	176,612	7	25,231	4	75,690	100	3,028
軽トラック	660cc	1 台	1,050,000	63	666,667	666,667	4	166,667	2	333,333	100	13,333
合計			16,880,220		11,092,930	11,092,930		1,321,905		4,993,063		188,342

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
ブロッコリー	サマードーム、ピクセル、おはよう	秋冬どり	920kg	黒ぼく畑 水田転換畑	400a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準																	
	作業期間 (月/旬~月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a 当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)												
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間													
は 種 育 苗 管 理	7/上~8/下	育苗トレイ(128穴)	35枚	は種機	○ハウス又はトンネルの雨よけ育苗。 は種前から遮光し、予めハウス内・ トンネル内の温度を下げておく。 ○セルトレイに用土を均一に詰める。 ○各穴には種穴を鎮圧板などで均一に つける。 ○は種、覆土後、かん水する。 ○発芽まではトレイを被覆し、乾燥を 抑えて、発芽を促す。	2.0	1.0	ガソリン 2.0													
		水稻育苗箱	35枚						1.0	6.0											
		用土:スミノイル	120ℓ			1.0	20.5														
		覆土:パーミキュライト	30ℓ						1.0	20.5											
種子(コート)	5,000粒	動力噴霧機	○発芽が1/3程度始まったらトレイ 上の被覆材をとる。	1.0	20.5	ガソリン 2.0															
寒冷紗	7㎡						動力噴霧機	○かん水は、培土が乾きすぎないよう 適宜行う。	0.3	1	0.3	ガソリン 0.2									
本 ぼ 準 備	7/下~8/下	液肥(育ちくん)	0.3ℓ	プロットキャスター	○元肥は定植の2週間前に施用する。	6.0							1	6.0	軽油 10.0						
		ゼンターリ顆粒水和剤	7g				トラクタ・ ロータリ	○耕転・整地する。	2.0	1	2.0	軽油 2.0									
		発酵鶏糞 (又は堆肥)	200kg (2,500kg)													トラクタ・ ロータリ	○根こぶ病、害虫防除(苗箱施用)	1.0	1	6.0	軽油 10.0
		セルカフレンド	120kg																		
C D U 燐加安S402	80kg	トラクタ・ ロータリ	○耕転	1.0	1.0	2.0							軽油 2.0								
大山アグリユーキ	40kg						トラクタ・ ロータリ	○定植:株間33cm×条間70cm(4,200本)	2.5	2	5.0	ガソリン 2.0									
ランマンフロアブル	140cc													動力噴霧機	○除草剤(定植直後、100ℓ)	0.5	1.0	0.5	ガソリン 2.0		
キック7顆粒水和剤	88g																			エンジンポンプ	○高温期の定植は、涼しい時間帯に行 い、たっぷりかん水しておく。
フロンスайдSC	500cc	エンジンポンプ	○高温期の定植は、涼しい時間帯に行 い、たっぷりかん水しておく。	0.5	1	0.5							ガソリン 2.0								
アグロマックス水和剤	250g						エンジンポンプ	○高温期の定植は、涼しい時間帯に行 い、たっぷりかん水しておく。	0.5	1	0.5	ガソリン 2.0									
かん水チューブ	100m													エンジンポンプ	○高温期の定植は、涼しい時間帯に行 い、たっぷりかん水しておく。	0.5	1	0.5	ガソリン 2.0		
かん水器具	1セット																			エンジンポンプ	○高温期の定植は、涼しい時間帯に行 い、たっぷりかん水しておく。
中 耕	8/中~10/上	管理機	○定植10日後に中耕する。	3.0	1	3.0							ガソリン 3.0								
							追肥・土寄せ	8/下~10/中	管理機	○定植20日後に追肥を行う。 ○追肥後、土寄せする。	2.5	1									
病虫害防除	8/中~10/中	カスミンボルドー	150g	動力噴霧機	○軟腐病、黒腐病防除(150ℓ)	0.5							2	0.7	ガソリン 2.0						
		アクト顆粒水溶剤	50g				動力噴霧機	○べと病、害虫防除(150ℓ)	0.5	2.0	0.7	ガソリン 2.0									
		レーバスフロアブル	75cc													動力噴霧機	○べと病、害虫防除(150ℓ)	0.5	2.0	0.7	ガソリン 2.0
トルネードエースDF	75g	動力噴霧機	○べと病、害虫防除(200ℓ)	0.5	2	0.6							ガソリン 2.0								
レーバスフロアブル	100cc						動力噴霧機	○べと病、害虫防除(200ℓ)	0.5	2	0.6	ガソリン 2.0									
ディアナSC	80cc													動力噴霧機	○べと病、害虫防除(200ℓ)	0.5	2	0.6	ガソリン 2.0		
収穫・調製・ 出荷	9/下~3/下	収穫台車	軽トラック	○早朝に収穫する。 ○調製、箱詰めする。 ○出荷する。	10.0	1							10.0							ガソリン 20.0	
							後片づけ	4/上	トラクタ・ ロータリ	○耕転する。	1.0	1									1.0
														合計							

5 経営試算(10aあたり)

区分	科目	金額	説明	
粗収益	主産物価額③	304,520	生産量①： 920 kg 単価②： 331 円/kg	
	主産物価額	0	生産量： 単価：	
	主産物価額	0	生産量： 単価：	
	副産物価額④	0		
	計 (A)	304,520		
生産原価	種 苗 費	14,484		
	肥 料 費	28,512	使用資材等は技術体系のとおり	
	農 薬 費	17,002	〃	
	諸 材 料 費	13,526	〃	
	動力光熱費	10,075		
	農 具 費	6,714	機械負担価額×4%	
	建物等修繕費	1,339	建物・構築物負担価額×1%	
	賃 料 料 金	0		
	共 済 掛 金	30		
	雇 用 労 賃	28,717		
	減価償却費⑤	33,048	別表のとおり	
	土地改良費	1,360		
	支払地代⑥	3,571		
	小計 (B)	158,379		
費	販売費一般	出荷資材費	20,535	
	管理費	販 売 諸 費	66,191	
		諸税負担金	656	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	896	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	142	借入資本利子率2%
		小計 (C)	88,421	
経 営 費 (D)	246,800	注) (D) = (B) + (C)		
家族労働費見積額 ⑧	105,300	農 従 労 働 時 間： 79.6 生産管理労働時間 1.4 1,300 円/時間		
支払利子・地代算入生産費(E)	352,100	主産物単位当たり 383 円/kg 注 (E) = (D) +⑧-④		
自己資本	流動資本利子⑨	6,378	注) ⑨= ((E)-⑤-⑦) / 2 × 0.04	
利子(F)	固定資本利子	4,709	利子率4%	
自 作 地 地 代 (G)	1,190			
全算入生産費 (H)	364,377	生産物単位当たり 396 円/kg 注 (H) = (E) + (F) + (G)		
所 得 (I)	57,720	時間当たり 713 円 注 (I) = (A) - (D)		
所 得 率 (J)	19	注 (J) = (I) ÷ (A) × 100		
農企業利潤 (K)	-59,857	注 (K) =③- (H)		
家族労働報酬 (L)	45,443	時間当たり 561 円 注 (L) = (I) - (F) - (G)		
農業資本利潤 (M)	-47,580	注 (M) = (I) -⑧		

